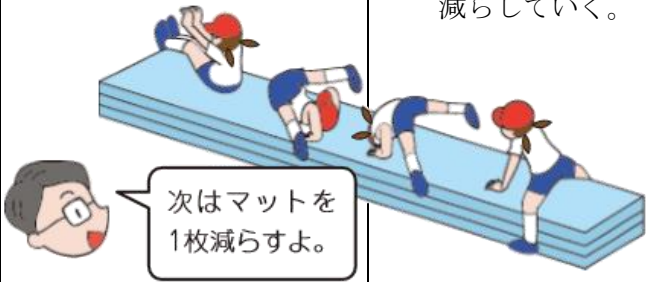
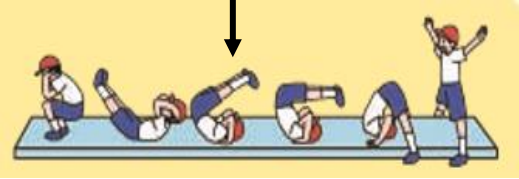


時	1	2	3	4	5	6	7	8
目標	【知識及び技能】 後転，開脚後転の行い方を知るとともに，2つの技をすることができるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 後転，開脚後転の行い方を工夫するとともに，考えたことを友だちに伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】 マットを使った運動遊びの後転，開脚後転に進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。							
コア技術	① おへそを見るようにした状態（アゴロック）で回っている。 ② 回転に勢いをつけて腰を上げている。							
めあて	安全に楽しもう。	協力して準備・片付けをしよう。	「後転」に挑戦しよう。	滑らかな「後転」に挑戦よう。	「開脚後転」に挑戦しよう。	どうすればうまくなるか考えよう。	マットを減らして「開脚後転」に挑戦しよう。	友だちの良いところやがんばったら良くなることを伝えよう。
指導内容	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ① ゆりかご ① 膝を曲げ，へそを見て前後に転がるようにする。 ② 手を上に伸ばした状態で構え，しゃがみ立ちの形から後ろに転がり，戻ってくる反動で元のしゃがみ立ちに戻る。 ③ ペアの相手に前に立ってもらい，タッチしたところから後ろに転がり反動を使って元に戻りタッチをする。 ④ あごを引いて大きなゆりかごからしゃがむ。	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ② 大きなゆりかご ① 膝を曲げ，へそを見て前後に転がるようにする。 ② 手を上に伸ばした状態で構え，しゃがみ立ちの形から後ろに転がり，戻ってくる反動で元のしゃがみ立ちに戻る。 ※ 体を小さく丸くしているだけでなく，腰を大きく開いていくことを意識させる。 ③ ペアの相手に前に立ってもらい，タッチしたところから後ろに転がり反動を使って元に戻りタッチをする。	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ③ 大きなゆりかごからの後転 ① 膝を曲げ，へそを見て前後に転がるようにする。 ② 手を上に伸ばした状態で構え，しゃがみ立ちの形から後ろに転がり，戻ってくる反動で元のしゃがみ立ちに戻る。 ③ ペアの友だちの1，2，3のタイミングで後転する。 4. 後転 ① あごを引いて背中を丸める。 ② 肘をしめて両手で支え，最後にマットを突き放してしゃがみ立ちになる。	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ③ 大きなゆりかごからの後転 ① 膝を曲げ，へそを見て前後に転がるようにする。 ② 手を上に伸ばした状態で構え，しゃがみ立ちの形から後ろに転がり，戻ってくる反動で元のしゃがみ立ちに戻る。 ③ ペアの友だちの1，2，3のタイミングで後転する。 4. 後転 ① あごを引いて背中を丸める。 ② 肘をしめて両手で支え，最後にマットを突き放してしゃがみ立ちになる。	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ① 基礎となる感覚を段階的に習得できる運動 ① しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻―背中―後頭部―足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転する。 ② 足先が頭を越したら脚を開き，手の近くに足を着ける。 ③ 最後に両手でマットを押して開脚立ちをする。	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ② 基礎となる感覚を段階的に習得できる運動 ① しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻―背中―後頭部―足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転する。 ② 足先が頭を越したら脚を開き，手の近くに足を着ける。 ③ 最後に両手でマットを押して開脚立ちをする。 ※ マットの数を少しずつ減らしていく。	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 本時のめあての提示 3. 開脚後転 基礎となる感覚を段階的に習得できる運動 ① しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻―背中―後頭部―足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転する。 ② 足先が頭を越したら脚を開き，手の近くに足を着ける。 ③ 最後に両手でマットを押して開脚立ちをする。 ※ マットは1枚で行う。	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 本時のめあての提示 3. レベルに合わせた練習 4. 発表会 VTRの確認 技の出来映えについて助言し合う。
	かかわりあい 補助 ・技を行う児童と反対側に立ち，「まえ～，うしろ～」のリズムに合わせて，ゆりかごを手伝う。 声かけ ・ゆりかごに合わせて「まえ～，うしろ～」と口伴奏をする。		かかわりあい 補助 ・技を行う児童の両側にいて腰を上げたり，体を支えたり，回転の勢いをつけたりするのを手伝う。 声かけ ・体が丸まったまま回転できるように「ヘソ見て～」と声をかける。				かかわりあい 補助 ・開脚立ちする手前で勢いが無くなり起き上がれない児童の腰を支えてあげる。 声かけ ・足先が頭を越したら「今！」や「ひらけ！」と声かけをして脚を開くタイミングを伝える。	
指導上の留意点	4. 学習のまとめ 5. 振り返り	4. 学習のまとめ 5. 振り返り	5. 学習のまとめ 6. 振り返り	5. 学習のまとめ 6. 振り返り	4. 学習のまとめ 5. 振り返り	4. 学習のまとめ 5. 振り返り	4. 学習のまとめ 5. 振り返り	5. 学習のまとめ 6. 振り返り
	体を小さく丸くして回れるようになったら，発展技に取り組めるように，腰を大きく開いて回転力を高めていかなければならない。「ゆりかご」も体を小さく丸くしているだけでなく，腰を大きく開いていくことを意識させる		つまずき 後転が苦手な児童には，ゆりかごなどの体を揺らす運動遊びや，かえるの逆立ちなどの体を支える運動遊びに取り組んだりして，腰を上げたり，体を支えたり，回転の勢いをつけたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。		1. ミニマットを重ね，開脚した後開脚立ちしやすい場を設定する。 2. 児童がコア技術②（回転力）をつけることが安定してできるようになってきたら，ミニマットを1枚ずつ減らしていく。 ※ コア技術①②ができるようになると，最後に両手でマットを押す感覚にも意識が向けられるようになる。	脚を開くタイミング 		
知			① 観察・ICT				② 観察・ICT	① 観察
思			① 観察		② カード	① 観察	③ 観察	
態	④ 観察	③ 観察		① 観察・カード	② 観察・カード			

単元の評価規準

【開脚後転（マットを使った運動遊び）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 開脚後転の行い方について、言ったり書いたりしている。(知識) ② しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻－背中－後頭部－足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転し、膝を伸ばして脚を左右に大きく開き、両手で押したまま開脚立ちすることができる。(技能)	① これまで取り組んできたスモールステップを振り返り、自分の課題を解決するために必要な場を選んでいる。(思考・判断) ② 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの連続図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題を見付けている。(思考・判断) ③ 友だちのよい動きを見付けたり，自分で考えたりしたことを友だちに伝えたり書いたりしている。(表現)	① 開脚後転に進んで取り組もうとしている。(愛好的態度) ② 順番やきまりを守り誰とでも仲よくマット運動をしようとしている。(公正・協力) ③ 場の準備や片付けを友だちと一緒にしようとしている。(責任・参画) ④ 場の安全に気を付けている。(健康・安全)

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

（１）知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 開脚後転の行い方について、言ったり実際に動いたりしている。	・ 開脚後転の留意点を友だちや教師に詳しく伝えたり，カードに書いたりすることができる。
② しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻－背中－後頭部－足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転し、膝を伸ばして脚を左右に大きく開き、両手で押したまま開脚立ちすることができる。	・ 滑らかな開脚後転を安定して行うことができる。(何度も繰り返しできる)

（２）思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① これまで取り組んできたスモールステップを振り返り、自分の課題を解決するために必要な場を選んでいる。	・ 自分の技能とこれまで取り組んできたスモールステップを振り返り，さらに技能を高める動きにはどのスモールステップが良いかを考え，理由を伝えている。
② 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題を見付けている。	・ 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，よりよくする行い方を見付けている。
③ 友だちのよい動きを見付けたり，自分で考えたりしたことを友だちに伝えたり，カードに書いたりしている。	・ 友だちのよい動きの特徴を，擬態語や身振りなど多様な表現を用いて具体的に友だちに伝えたり，カードに書いたりしている。

（３）主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 開脚後転に進んで取り組もうとしている。	・ 開脚後転への行い方を試している。
② 順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動遊びをしようとしている。	・ 自分が楽しむだけでなく，グループの友だちを励ましたり，応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを友だちと一緒にしようとしている	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 場の安全に気を付けている。	・ 自分のことだけでなく，周囲の安全にも気を配っている。

※ 学習指導要領解説の技の例示とは異なった学年で授業を計画しています。その理由は以下の２点です。

- ① 器械運動の技を系統的・段階的に習得するため。
- ② 器械運動の授業を学年間で偏りなく行うため。